

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成29年11月8日
【四半期会計期間】	第59期第1四半期（自平成29年4月1日至平成29年6月30日）
【会社名】	インヴァスト証券株式会社
【英訳名】	INVEST SECURITIES CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 川路 猛
【本店の所在の場所】	東京都港区西新橋一丁目6番21号
【電話番号】	03-3595-4111（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員CFO 二重作 将人
【最寄りの連絡場所】	東京都港区西新橋一丁目6番21号
【電話番号】	03-3595-4111（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員CFO 二重作 将人
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成29年8月10日に提出した第59期第1四半期（自平成29年4月1日 至平成29年6月30日）四半期報告書の記載事項の訂正として平成29年10月30日に提出した四半期報告書の訂正報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため、四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

## 2【訂正事項】

四半期報告書の訂正報告書の提出理由

## 3【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_\_\_\_線を付して表示しております。

(訂正前)

四半期報告書の訂正報告書の提出理由

平成29年8月10日に提出した第59期第1四半期（自平成29年4月1日 至平成29年6月30日）四半期報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため、四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

(訂正後)

四半期報告書の訂正報告書の提出理由

当社子会社は、法人を中心としたお客様の為替、商品、株価指数などのデリバティブ取引ニーズを満たすため、同社がお客様の売買の相手方となる一方で、同種の取引を自己勘定により金融機関との間で行うことによってトレーディング損益を計上しております。

通常、こうした取引は現物の受け渡しを行わずに、売買価格差等に相当する金銭を授受することで取引を終了（決済）させますが、トレーディング損益には決済取引により確定した損益に加えて、反対売買が行われていない未決済取引の評価損益が含まれております。

今回、子会社において、未決済取引の評価損益を算出するにあたって誤った数値を使用し、自己勘定の評価益が過少に計上されていたことが判明したため、連結のトレーディング損益を訂正いたしました。

これにより、平成29年8月10日に提出した第59期第1四半期（自平成29年4月1日 至平成29年6月30日）四半期報告書の記載事項の一部を訂正する必要が生じたので、これを訂正するため、四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。